

東京都羽村市で、羽村バイオガス発電所を操業する西東京リサイクルセンター（植田徹也代表取締役、☎ 042・5333・6640）は2月10日、同市の市立武藏野小学校で4、5年生を対象に環境出前講座を行った。同社取締役会長の大橋徳久氏が、バイオガス発電の仕組みなどについて講義を行った後、児童がグループに分かれて活発な意見を交わし、学びを深めた。

出前講座は、同校が

「総合的な学習の時間」

を活用して実施する環境学習の一環として、大橋会長が講師に招かれて実現した。当時は、午前中に4年生、午後に5年生のそれぞれ約80人が体育館に集まり、の環境キーワードと生きる活動だけでは解決しない問題への気付きに時間が設けられた。

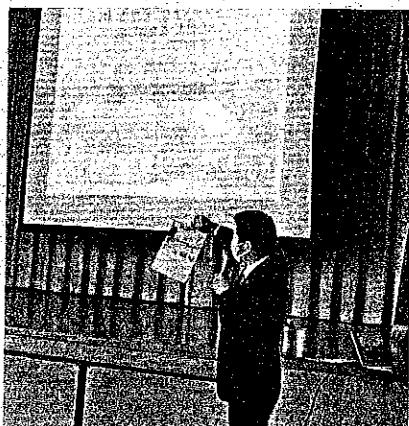
大橋氏は、バイオガス発電の仕組みと再生可能エネルギーでの社会貢献について解説し、元あるとは思わなかつた」など驚きの声も

SDGs・3R

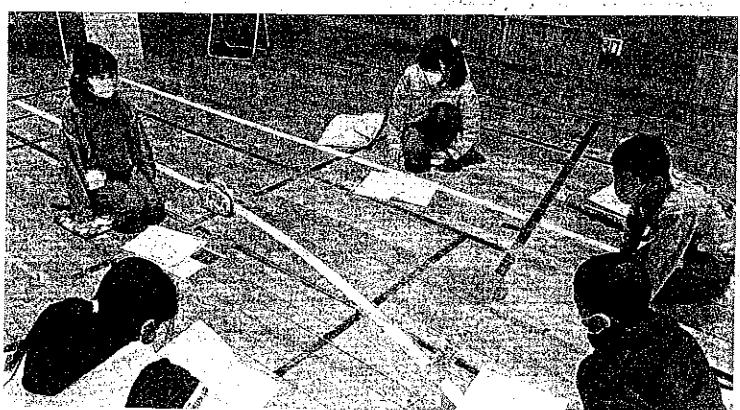
西東京リサイクルセンター

バイオガス発電を講義 子どもたちの気付きに

地元小学校で出前講座



講義する大橋会長



グループワークで意見を交わす児童。出前講座の経験が豊富な大橋氏も、同校児童の環境意識の高さには驚いたという

・地球温暖化防止などあがつた。

などの日頃実践している活動だけでは解決しない問題への気付きに時間が設けられた。そこで、同社施設の話を交つて、「一方通行の講義ではなく、児童が講義を聞いて考えたことについて意見を出し合

事務に取り組んでいくなかで、環境のことを一緒に学んだ地元の子どもたちから、将来1年間約770万キロワットの発電能力を持つ。産廃処分業の許可に続い

た」と意義を語った。いと黙ってもらえるな廃棄物処分業の許可を取得し、事業系一廃の生ごみを受け入れできる体制を整えた。

大橋氏は「今後も羽村市で20年、30年にわたり嬉しい」と期待感を

持つ」と語った。

羽村バイオガス発電

SDGs・3R

SDGs・3R</